

東京バッハ合唱団 月報

[第 669 号] 2018 年 3 月号

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 5-17-21-101

Tel: 03-3290-5731 Fax 専用: 03-3290-5732 郵便振替: 00190-3-47604

Mail: office@bachchor-tokyo.jp http://bachchor-tokyo.jp/

BACH-CHOR, TOKYO

Monthly Newsletter No. 669

March 2018

5-17-21-101 Funabashi,
Setagaya-ku, Tokyo

『愛唱したいバッハアリア<独唱篇>50 曲』と『<重唱篇>55 曲』（仮称）、刊行！

アリアは、カンタータの樹海に輝く宝石

小海 基（日本基督教団荻窪教会牧師、団員）

1962 年に発足した私たちの東京バッハ合唱団のこれまでの主な活動は、主宰者大村恵美子訳によるバッハのカンタータや受難曲、ミサ曲等の日本語上演とその楽譜の出版でした。都内の定期演奏会や全国各地の教会等での特別公演で、この 55 年間で 300 回を超える演奏会（バッハの宗教作品のほぼ 2/3）、72 曲に及ぶ日本語版のカンタータ楽譜の出版を行ってきました。現在の時点で既に、バッハの 200 曲ほどの教会カンタータに関しては、すべてにわたり主宰者による訳詞こそ完成していますが、いまだ全曲上演、全曲出版については途上にあります。

この事業を始めた半世紀前には、まだほとんど教会カンタータが演奏されることもなかったことと現在を比べると、リリング盤を皮切りにアーノンクール/レオンハルト盤、鈴木雅明盤、コープマン盤……といった教会カンタータ全曲盤が次々と出され、頻りに国内外の演奏団体公演がなされ、「教会カンタータこそが J. S. バッハの真の代表作」（シュヴァイツァー）であることが今や共通認識となりつつあるのは隔世の感があります。日本各地の教会聖歌隊や合唱団体が、ベートーヴェンの「第九」やヘンデルの「メサイア」、モーツァルトやフォーレの「レクイエム」だけでなく、もっともこのバッハの教会カンタータをレパートリーとして採り上げていただきたいというのが、発足以来変わらない私たちの願いであります。

しかしその一方でこの教会カンタータというのは、そもそもバッハの時代の礼拝の中での上演のために作られたという経緯から、いずれの曲も約 15 分から 30 分という長さ（短さ？）、それでいて管弦楽をフルに伴い、複数のソリストも要し、歌う難易度の高いこと……等、現代の教会の礼拝で用いるには長すぎ、また演奏会としては短かすぎて、いくつかのカンタータを組み合わせて上演せざるを得ない面は、否めません。そうしたことも、歌詞の問題に加えて、日本各地の教会聖歌隊や合唱団体のレパートリーとして定着することを妨げているのかもしれない。

そこから発想されて、東京バッハ合唱団のこれまでの活動の実りから企画・編集に至ったのが、膨大なバ

ッハ・カンタータの樹海の中から摘み集めた、名曲アリアの花束ともいふべき、この『愛唱したいバッハアリア<独唱篇>50 曲』と『(同) <重唱篇>55 曲』（仮称）なのです。難易度の高いものではなくて、誰もが歌える「愛唱歌」というにふさわしい、よりすぐりの美しいカンタータの結晶のような曲が、テーマのコーラルと共に、「独唱篇」、「重唱篇」として集められています。ほとんどが、当合唱団で何度も日本語上演を重ねた上で訳語を練ってきた、歌いやすく、かつ耳で聴いて分かり、心に届く名訳です。バッハがカンタータで指定したとおり独唱（あるいは重唱）で歌っても良いですし、斉唱・合唱のレパートリーとして歌うこともできる曲の数々です。

もちろんこれからも東京バッハ合唱団は主宰者大村恵美子訳の、残るカンタータ楽譜を出版し続けますが、近々 100 冊に及ぼうとする全曲収載の楽譜全てを日本各地の教会や各合唱団体が揃えて購入し、その樹海のようなカンタータの譜面の中から、こうした珠玉の「愛唱歌」を選んでレパートリーとしていくのは大変なことです。そうした意味でも、この『バッハアリア<独唱篇>50 曲』と『<重唱篇>55 曲』は、今こそ出されるべき曲集であると思います。この曲集をレパートリーとしてくださる教会聖歌隊や合唱団体の中から、次こそは教会カンタータ全曲上演に挑戦したいと志すグループも起こってくることでしょう。

問題は、現在のような出版不況の時代に、この事業を担ってくださる出版社に出会えるか、ということですが、どうぞ名乗りを上げてください。バッハの「教会カンタータ」という至宝の世界を、日本の合唱界の共通財産とするために、ご協力お願いします！

次ページ以下に、内容をご紹介します。<独唱篇>は 2017 年 12 月号月報に掲載の一覧表の訂正・改訂版です。楽譜集のタイトルはいずれも仮に付けました。みなさまからもご提案ください。

月報 3 月号 CONTENTS

- ・ [表組] バッハの独唱アリア 50 曲、
重唱アリア 55 曲 …… p. 2-3
- ・ 2019 年は、何を歌うか？（大村恵美子） …… p. 4

日本語で歌える、バッハの独唱アリア 50 曲選—やさしい4声体コラールつき— (仮称)

[ドイツ語原詞/日本語訳詞:大村恵美子]

◆声部欄=S:ソプラノ、A:アルト、T:テノール、B:バス。◆ただし、SとTは高声(または中声)、AとBは低声(または中声)として、どちらの声部でも歌えます。

◆コラール歌い出し=[]数字は、大村訳編『バッハ コラール・ハンドブック』(春秋社)の整理番号。コラール作者、旋律、他の節の歌詞などをご参照ください。

◆作品番号=BWV31/8,9は「カンタータ第31番の第8曲、第9曲」を示す。表題の「*」印は、大村訳・当合唱団出版局発行の楽譜全集に全曲収録の曲。

No.	アリア曲名(歌い出し)	声部	コラール(歌い出し)	作品番号/曲	カンタータ表題
1	終りの時よ	S	みもとに至りて [141]	BWV 31/8,9	《天は笑い 地はどよめく》
2	かよわき声すらも	S	頌(ほ)めよ み父を [97]	BWV 36/7,8	*《喜び昇れ いと高き星に》
3	わが心よ 喜び歌え	S	—	BWV 68/2,-	*《み神はこの世を かく愛したまえり》
4	備えたまえ 主の道を	S	イエス わが喜び [78/144]	BWV 147/5,10	*《心と 日々のおもて》
5	いとしきわがイエス 来ませり	S	—	BWV 151/1,-	《いとしき わがイエス 来ませり》
6	充たせや 神の炎	S	げに幸なるかな [145]	BWV 1/3,6	*《あしたに輝く たえなる星よ》
7	聞け民よ 主の声を	S	善きわざもて [39]	BWV 76/3,14	*《主の栄光を 天は語り》
8	開け わが心	S	げに幸なるかな [145] (部分)	BWV 61/5,6	*《いざ来たりませ 世の救い主》
9	喜びて 小さな糧を	S	満ち足りて世に生き [143/142]	BWV 84/3,5	*《われ 足れり わが幸に》
10	救いと幸(さいわい)	S	われらを援けて [51]	BWV 120/4,6	《主を頌めまつる 静けきシオンにて》
11	わが魂 み手に憩う	S	罪を みな赦し [55]	BWV 127/3,5	《イエス 真の人 真の神こそ》
12	愛のみ手に投げ込め わが心	S	み旨(むね) 知れずとも [37]	BWV 155/4,5	《主よ いつまでか この苦しみ》
13	われ 心より 敵を赦さん	S	たたかい抗う弱きわれを [67]	BWV 177/2,5	*《呼びまつる イエスよ》
14	主は わが頼める まことの牧人	S	まことの牧人 [73]	BWV 85/2,6	《われは 善き牧人》
15	そは いつ (この世のエジプトより)	A	天地(あめつち)ならず [91]	BWV 70/3,11	《起きて 祈れ》
16	イエス わが心を	A	神の御業こそ [135]	BWV 75/10,14	*《貧しき者は 食し》
17	愛を おこなえ	A	善きわざもて [39]	BWV 76/12,14	*《主の栄光を 天は語り》
18	神の御業こそ ことごと善けれ	A	神の御業こそ [135]	BWV 100/5,6	《神の御業こそ ことごと善けれ》
19	清き水を 主は われに教え	A	主の慈しみは [25/9]	BWV 112/2,5	《主は わが頼める まことの牧人》
20	司(つかさ)は 主の賜物	A	救いたまえ 主イエス [51]	BWV 119/5,9	《頌めよイエルサレム 主を》
21	慰めは 主にあり	A	今日 主は開けり [87]	BWV 151/3,5	《いとしき わがイエス 来ませり》
22	直く清らに 澄みたる心は	A	義(ただ)しき神 恵みの泉 [102]	BWV 24/1,6	《直く清らに 澄みたる心は》
23	われ み国をみざさん	A	頌めよ み父を [40/8/144]	BWV 146/3,8	《あまたの苦しみをへて 入るべし》
24	愛と憐みにより 神に近づかん	A	われら 死にては [49]	BWV 164/3,6	《弟子と名のる者らよ》
25	神のいとし子よ	A	主イエスよ み力を [34]	BWV 6/2,6	*《とどまれ われらと》
26	頌めよシオン 神を喜び語れ	A	み名を讃えて 年を終らん [79]	BWV 190/3,7	*《主に向かいて 歌え》
27	ものみらの声に	T	グロリア 主を讃えん [130]	BWV 140/4,7	*《目覚めよと 呼ばわる》
28	受けたまえ われを	T	いざ 主よ 委ねん [65]	BWV 65/6,7	*《もろびと シバより来たりて》
29	惑うことなく	T	降(くだ)れるみ霊は [46/81]	BWV 108/2,6	《わが去るは なれらのため》
30	十字架の旅路も	T	世は おろかの道 [85]	BWV 123/3,6	*《いとし インマヌエル》
31	心よ 思いよ	T	アレルヤ 讃えよ [147]	BWV 110/2,7	*《喜び 笑い あふれ》
32	見よ 愛のみわざ	T	まことの牧人 [73]	BWV 85/5,6	《われは 善き牧人》
33	菩提樹の町の民	T	救いたまえ 主イエス [51]	BWV 119/3,9	《頌めよイエルサレム 主を》
34	いざ歌え 主の民	T	—	BWV 134/2,-	《いま イエスは生きたもう》
35	主 わが友	T	陰府(よみ)の軍勢も [151/89]	BWV 139/2,6	《幼児のごとく 主に依れる者》
36	目覚めよ なが主は 扉を叩く	T	いのちの糧なる [115]	BWV 180/2,7	*《装え 心よ 罪の闇を去り》
37	主のみ名の誉れは	T	み名を讃えて 年を終らん [79]	BWV 171/2,6	《主の誉れは 地の果てまで》
38	心の園よ	T	み神より出づる 喜びの光 [145]	BWV 172/4,6	《歌よ 琴よ とどろきわたれ》
39	黄金も むなし	B	いざ 主よ 委ねん [65/136]	BWV 65/4,7	*《もろびと シバより来たりて》
40	まどろめ 弱れるまなこ	B	—	BWV 82/3,-	*《われ 足れり (待ち望みたる)》
41	強き者を 落とし	B	栄えは 父と子に [90]	BWV 10/4,7	《わが魂 主をあがめ》
42	十字架を 勇みて負わん	B	来たり 導け [29]	BWV 56/1,5	*《十字架を 勇みて負わん》
43	世は われをひとり	B	世は おろかの道 [85]	BWV 123/5,6	*《いとし インマヌエル》
44	主と共に歩め	B	主を 頌め讃えん [137/128]	BWV 107/3,7	《なんぞ悲しむや おお わが心》
45	幸なる 憩いの日	B	天地(あめつち)ならず [91]	BWV 70/10,11	《起きて 祈れ》
46	昼も 夜も	B	—	BWV 71/4,-	*《主は わが君》
47	荒き 大波に	B	あだの謀(はか)りごと [149]	BWV 178/3,7	*《主 われにいまさずば》
48	主こそ わが望み	B	わが父に在(ま)せば [132]	BWV 138/4,6	《わが心 うなだれ》
49	立ち帰れ 病める心	B	神は そのみ子を [15/136]	BWV 103/5,6	《なれら 泣き叫ばん》
50	失せよ おろかにむなしき憂い	B	死と生を治(し)らす 君よ [84]	BWV 8/4,6	*《み神よ わが死は いつ》

日本語で歌える、バッハの重唱アリア<55選> (仮称)

[ドイツ語原詞/日本語訳詞: 大村恵美子]

◆声部欄=S:ソプラノ、A:アルト、T:テノール、B:バス。ただし、SとTは高声(または中声)、AとBは低声(または中声)として、どちらの声部でも歌えます。

◆作品番号=BWV3/5は「カンタータ第3番の第5曲を示す。◆カンタータ表題の「*」印は、大村訳・当合唱団出版局発行の楽譜全集に全曲収録の曲。

No.	アリア曲名 (歌い出し)	声部	作品番号/曲	カンタータ表題
1	悩む時にも イェスに向かい	S/A	BWV 3/5	《繁き悩み われを襲い来て》 I
2	死を従う者	S/A	BWV 4/3	*《キリスト 死に繋がれしが》
3	祝え いざわれら	S/T	BWV 4/7	〃
4	わがイエス 癒したまえ	S/B	BWV 21/8	*《われは 憂いに沈みぬ》
5	主なる神 ダビデの子	S/A	BWV 23/1	《主なる神 ダビデの子》
6	主は この年を	A/T	BWV 28/5	*《頌むべきかな 年終り》
7	すべての痛みは	S/B	BWV 32/5	《いとしきわがイエス わが望み》
8	いざ 来たりませ	S/A	BWV 36/2	*《喜び昇れ いと高き星に》
9	父なる わが君	S/A	BWV 37/3	《幸いならん 信じて洗礼受くる者》
10	悲しみは 鎖のごと	S/A/B	BWV 38/5	《深みより 主を呼ぶ》
11	恐るな 小さき群	S/T	BWV 42/4	*《同じ安息日の夕べ》
12	繁き悩み いまわれを	S/B	BWV 58/1	《繁き悩み われを襲い来て》 II
13	憂きわが旅路に	S/B	BWV 58/5	〃
14	主の定めしもの	S/B	BWV 63/3	*《彫り刻め この日》
15	呼ばわれ み空に	A/T	BWV 63/5	〃
16	墓の闇 おそれしわれを	A/T	BWV 66/5	《心はずめ 痛みは去れ》
17	われ 老いたり	S/T	BWV 71/2	*《主は わが君》
18	急ぎゆかん 弱くとも	S/A	BWV 78/2	*《イエス わが心を》
19	神よ 見棄てたまわざれ	S/B	BWV 79/5	《神は わが光 盾》
20	みな 主につける者は	S/B	BWV 80/2	*《堅き砦ぞ わが主は》
21	幸なるかな 主を呼びまつる者	A/T	BWV 80/7	〃
22	主の召しなれば	S/A	BWV 88/5	《見よ われ 多くの漁師を遣わし》
23	貧しさ負いて 主は	S/A	BWV 91/5	《頌め歌わん 主イエス》
24	み神は 知りたもう	S/A	BWV 93/4	*《ただ 主に依り頼み》
25	主の定めたまいし道	S/B	BWV 97/7	*《わがすべてのわざ 主に導かる》
26	ながみ手に委ねまつる	A/B	BWV 106/3	*《神の時は いと正し》
27	栄えは いと高き神に	A/T	BWV 110/5	*《喜び 笑い あふれ》
28	いざ 雄々しく進まん	A/T	BWV 111/4	*《み心は つねに成し遂げらる》
29	幸なり 依り頼む者	S/A/T	BWV 122/4	*《新たのみどり児 小さきわがイエスは》
30	別れ告げよ この世に	S/A	BWV 124/5	*《イエス 共にあらん》
31	奇しき光 世をあまねく	T/B	BWV 125/4	《われは去りゆく 安らかに》
32	み前に 咎(とが)を	S/B	BWV 131/2	*《深みより 主よ われは》
33	わが魂は 主を待てり	A/T	BWV 131/4	〃
34	謝しまつらん 主の愛に	A/T	BWV 134/4	《いまイエスは 生きたもう》
35	頌めよ 主を	S/B	BWV 137/3	*《頌めよ主を 強き栄えの君を》
36	わが友 ながもの	S/B	BWV 140/6	*《目覚めよと呼ばわる 物見の声高し》
37	われは 生く	S/T	BWV 145/ 1	《われは生く ながために》
38	いかに嬉し いかにさやけし	T/B	BWV 146/7	*《あまたの苦しみを経て 入るべし》
39	目覚めよ 聖(きよ)き見張り	A/T	BWV 149/6	《喜びの 勝ち歌は》
40	杉は 風を受け	A/T	BWV 150/5	*《なれを 主よ われは仰ぐ》
41	イエス 見出されぬ	A/T	BWV 154/7	《イエス君は 失せぬと》
42	信仰もて 待ち望み	A/T	BWV 155/2	《主よ いつまでか この苦しみ》
43	墓に 片足入れ	S/T	BWV 156/2	*《墓に 片足入れ》
44	この世に 別れ告げん	S/B	BWV 158/2	《安らかにあれ おののく心》
45	みあと 従わん	S/A	BWV 159/2	《見よ わが罪 主はいずこへ》
46	主にあり われ喜ぶ	A/T	BWV 162/5	《われ見たり 婚礼に》
47	かくも 世を愛して	S/B	BWV 173/4	《高められし 血と肉よ》
48	愛でられたる 幸なる群れ	S/A	BWV 184/2	《待ち望みたる 喜びの光》
49	とわの愛なる み心よ	S/T	BWV 185/1	《とわの愛なる み心よ》
50	いかなる悩み 主を分かつたん	S/A	BWV 186/10	《恐るな 心よ》
51	イエス わがすべて	T/B	BWV 190/5	*《主に向かいて 歌え》
52	グローリア 父 み子に	S/T	BWV 191/2	*《グローリア 高き天なる神に》
53	富める神よ われらに	S/B	BWV 192/2	*《感謝せん 神に》
54	大いなる この幸	S/B	BWV 194/10	*《大いなるこの日 新たな宮を》
55	主は なれを愛でたまわん	T/B	BWV 196/4	*《主は覚えたもう われらを》

2019 年は、何を歌う？

大村 恵美子 (主宰者)

合唱団創立 50 周年 (2012 年) の記念企画として、
私たちは、5 回の定期演奏会をあてて、

《ロ短調ミサ曲》訳詞初演、#106 (2011 年)

《クリスマス・オラトリオ》前半、#107 (2012 年)

《マタイ受難曲》#108 (2013 年)

《クリスマス・オラトリオ》後半、#109 (2013 年)

《ヨハネ受難曲》#110 (2014 年)

(「#106」は第 106 回定演。以下、定演の序数番号
を「#」で示す)

という大曲連続演奏を成就し、その後は、東日本大震
災被災地 (南相馬) での合同公演 (#112) や、アンナ・
マクダレーナ・バッハの音楽手帖紹介 (#114) など、
異彩を放つ要素を交えながら、カンタータ主体のプロ
グラムに戻って来ましたが、今年の創立 55 周年は、再
度《ロ短調ミサ曲》に挑戦して (#115)、幸いにも 6
年間の進化を証明することが出来ました。

いつも年末には、《クリスマス・オラトリオ》が聴き
たいという大きな要望に応じようと、本年末からは、
《オラトリオ》を復活させますが (前半、#117。2018
年 12 月 15 日、武蔵野市民文化会館)、クリスマスには
華々しいカンタータも多数あって、それらの再演にも、
心を配ることになりました。

まだ手をつけずにいる数十曲の未演カンタータ、ぜ
ひまた再演、三演、四演……と期待される、未出版の
カンタータ、等々をとりまぜて、私が考案し、団員相
談会でも OK となったプログラムは、数年分ですが、
月報第 661 号 (2017 年 7 月) に公表されたのは、#121
(第 121 回定期演奏会、2020 年末) までです。

ここでまた詳細をくり返すことはできませんので、
年の改まった現在、手近かな見透しも必要でしょうから
(毎回の演奏会場確保のため、および上演楽譜の契
約と制作には、1 年半から 2 年前までの準備が必要)、
とりあえず 2019 年の定演 2 回分の概要だけを、お伝え
します。

2019 年の前半 (#118)

公演のテーマ: 「悩むさなかにも、堅き望みを」 (4
曲で 82 分)

- 1) カンタータ BWV109 《われは信ず わが主よ》
- 2) カンタータ BWV166 《いずこへ主よ 行きたもう》
- 3) カンタータ BWV188 《わが堅き望み》
- 4) カンタータ BWV79 《神は わが光 盾》

この中で 1) と 3) は、いずれも三位一体節後第 21
日曜日のための作品で、新約聖書の同じ箇所にもとづ
く (ヨハネ 4; 47-54。王の役人の息子が奇跡的に癒さ
れる)。この 2 作品の間においた 2) BWV166 は、小説な
どでも周知の「クオ・ヴァディス・ドミネ (主よ いずこ
へ?)」の場面がとり上げられます。ローマを去るのも、

帰って囚われるのも、絶体絶命の境地にあったペトロ
が、復活のイエスに路上で出くわし、不安にかられて
発した問いの言葉です。いかにもイエス刑死後の、よ
るべない弟子たちの、つまり原始キリスト教の成立前
の、敵だらけの心中を、目に見えるように描いていて、
ライブツィヒ着任当時のバッハの心境にも重なり
(1724 年初演)、ぐっと迫るようです。3) 《わが堅き
望み》(1728 年初演) では、仏教のお経の文句で有名
な「あしたに紅顔、ゆうべに白骨」のはかなさに通じ
るようなアルト・アリアの中で、〈夕べ訪れ 朝にはい
まだ見ざりし様 (さま) に 変わり果てなん〉と歌われ
ます。4) の BWV79 は、この日のプログラムの結論的に、
神への絶対的な信頼を高々と歌い、〈いかに強く あだ
の迫るとも わが口は なれを頌め歌うべし〉(S/B 二重
唱)、さらに最終コラールで〈とわの自由を われらに
与えたまえ〉とさえ祈ります。

地球すなわち人類の居住空間の滅びは、昔から危惧
されているものですが、この定演の内容は、その深刻
さにおいて、現時点の私たちにも生き生きと訴えてき
ます。ただ、バッハの時代的制約として、BWV 79 が宗
教改革記念日 (10 月 31 日) のために作られたバッハ
の唯一のカンタータであることから (ルターのコラール
に基づく有名な BWV80 は、ヴァイマル初演の曲の改
作)、ところどころで、ローマ教皇との対立、カトリッ
ク教会へのはげしい敵視が歌われ、昨今のキリスト教
会のエキュメニクな事情からは、ずれることもある
のですが、例の「クオ・ヴァディス・ドミネ」に発した、
ヨーロッパの教会史に、私たちが思いを致す上で、そ
して「とわの自由 (ewigliche Freiheit) を」と全人
類が祈りを揃える上で、良いひとときとなるのではな
いでしょうか。

楽器は、4 曲ともオーボエ類を中心に、ホルン、フ
ルート、ティンパニ等が部分的に加わって、1 時間半
弱の、濃密な音の世界をつくります。

2019 年の後半 (#119)

公演のテーマ: 「地に恵みと真」 (全ステージ 95 分)

1) カンタータ BWV110 《喜び 笑い 溢れ》

2)-4) 『クリスマス・オラトリオ』第 4 部～第 6 部

2018 年 (本年) 12 月の《クリスマス・オラトリオ》
前半にひきつづき、後半 3 部がしばらくぶりに登場
(2013 年以来)、そしてカンタータは《管弦楽組曲》
第 4 番 (BWV1069) の序曲を冒頭合唱に転用し、壮麗な
オーケストラに合唱パワーをぶち込んだ、クリスマス
初日用の、これまた私たちの待望の作品です。

バベルの塔そのもののような、愚かさの極致の現代
政治にも拘らず、この公演日まで私たちが生きのびら
れるものなら (!)、それこそ声を限りにこの音楽を歌
いまくることでしょう。ご期待ください、そして人類
と地球の存続を信じましょう。

E-C-7